

5.15

■司会 長松 俊博〈大分県〉 大分県教育委員会生涯学習課生涯学習推進係長
山岡 澄雄〈広島県〉 広島県教育委員会生涯学習課社会教育主事

1. できることをできるところから

14:15~14:40

—町ぐるみの国際支援活動—

川田 裕子〈広島県〉 大野町国際支援協会(OISA)副会長

平成4年PTA講演会で京都「ベトナムの子どもたちを支援する会」との出会いから、翌年町ぐるみで取り組んだ支援活動が、その後OISAとして継続し今日に至っている。ベトナム・ベンチエ省の障害児への支援活動を中心に、京都の会と連携を取りながらも、それぞれができることをできるところから関わり無理をしないことを前提に、大野町で取り入れ易い形で活動している。

2. 500円で学習を!

14:40~15:05

—「ワンコイン教室」の経緯と課題—

田島 恭子〈佐賀県〉 財団法人「孔子の里」事業担当

市民の教養向上のために平成8年度に講師を公募した「雑学大学」でスタート、9年度は「土曜講座」として開設、10年度は「教室」として定着した。予算がないので受講者から500円を徴収して実施、講師は市内在住の中国人4人と地元の有志3人に依頼している。市中心部から離れている施設にもかかわらず、月350人の参加がある。

～ ティータイム ～

15:05~15:40

3. 生活の中の‘学び’を見直す

15:40~16:05

—町民の“グリーンシャワー輝き学園”—

高木 昭〈山口県〉 菊川町教育委員会社会教育課生涯学習推進専門員

文部省の地域社会教育総合事業を受けて平成9年度より実施、教育委員会と各組織の代表者、学識者による運営委員会を中心に町民に呼びかけて、生涯学習を身近な生活のレベルでとらえ、考えようと取り組んでいる。生活の中の学習関連項目を分類・点数化する「学びの記録簿」を活用して、日常生活を‘学び’の視点で見つめ直している。

4. 公演開催による町おこし

16:05~16:30

—「千々石こだわり倶楽部」挑戦と模索の10年—

町田 岩太〈長崎県〉 千々石町消防吏員

自然・よいもの・人にこだわる「千々石こだわり倶楽部」は、地域に根ざした各種イベントを行うことにより、人づくり・地域づくり・自分づくりを目指している有志のグループである。昭和63年以來、出演者をホームステイで受け入れてコンサートや寄席を開いたり、千々石海岸を舞台にした砂の造形コンクールを実施している。

5. 総括討論

16:30~17:00